

環境の魅力を考えた場合にどのようなセールスポイント、または改良すべき課題があると考えていますか。

②自治体としての魅力づくりについて

現在、人の流れを促す施設としては、ボタ山わんぱく公園をはじめとする各公園、楠の群生林、おおまち情報プラザ、民間資本である温泉施設や煉瓦館、神社など、またソフト面ではふるさと大町納涼まつり、サマ祭り、たろめんなどが思い浮かびますが、町民や交流人口に対する本町の魅力づくりに関して、さらなる地域ブランディングや観光資源などの発掘、開拓、整備などは考えていますか。

います。

さらに、移住・定住促進事業により、優良田園住宅をはじめ、民間資金による宅地開発、住宅建設の促進を行っているところです。

総務省の発表では、令和3年に全国の過疎自治体713市町村を調査したところ、転入者が転出者を上回った「転入超過」だった市町村94の中に大町町が数えられたのは、これらの政策などが充実し功を奏したものと考えていますが、その後、2度目の豪雨災害を被り、懸念材料になっていることは否めません。

課題として、まずはその治水・内水対策に積極的に取り組む、「安心安全に暮らせる町づくり」「住みよい町づくり」を進めていきたいと思っております。

また、町の施設としては更新や改修などが必要な施設が複数あります。スポーツセンターや公民館などを子育てや高齢者の憩いの場を備えた複合施設として、

構造や機能を充実させることも含め、町づくりの一環としてイメージアップを図る方向で進めていければと思っております。

②大町町には観光資源なり、交流資源があります。

特に、交通量の多い国道34号沿いにある「おおまち情報プラザ」や、町外の方からも待ち望まれている「大町温泉ひじり乃湯」の再開に向けての改修などが進められており、交流人口の増に貢献するものと期待をしているところです。

また、町のブランドづくりとしては、現存する観光資源、交流資源をさらにブラッシュアップし、PRをしていく必要があると考えています。加えて、大町たるめんについては更なるアピールが必要だと思っております。今後の取り組みなど、検討を指示しているところです。

ディング市場調査により、提案された民間事業者のアイデアに取り組むこととした「大町ブランドづくり」も進めています。災害の影響で、残念ながら思うように進んでいないのが実情です。

また、新たに「町有地を活用した新たな魅力づくり」を目的としたサウディング市場調査も計画したいと考えており、民間事業者のアイデアに期待をし、わたしの考えと上手くマッチングできればと思っています。

さらに、キュウリ農家による園芸団地経営を支援し、キュウリのブランド化を目指していきたいと考えています。

また、報道などで「存じのとおり」「ゾンビランドサガ」のデザインマンホールが、おおまち情報プラザのSの北側通路に設置されました。ファンが多いアニメで、新名所となることを期待しています。

**地域コミュニティ意識および活動の醸成に関する取り組みについて**

**議員** 移住促進政策などにより毎年、転入があつていくことは誠に喜ばしいことです。しかし、今後これらの傾向が続くと予測されるなか、同時にこれら移住された人たちも含めた自治区などにおける地域コミュニティ意識や活動の醸成も本町が掲げる「協働のまちづくり」を行う上で重要なことと考え、以下を質問します。

①具体的にどのような対応や働きかけを行っておりますか。

②働きかけなどを行ってあるなかで、どのような障壁や課題があると考えていますか。

**企画政策課長**

①大町町第5次総合計画「持続可能な地域づくり」と基本目標を掲げ、まず「コミュニティの意識の高揚」では、広報おおまちで、保健ガイド、インフォメーションなどに各